

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AN344／文学講義 114 (Lectures on Literature 114)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ドイツの音楽・舞台芸術		
担当者名 (Instructor)	江口 直光(EGUCHI NAOAKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GRL3800	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	文学部生以外は抽選科目で登録すること。		

授業の目標 (Course Objectives)

ドイツ語のオペレッタをテーマとし、このジャンルの特質と社会的・精神的背景を学ぶ。

German operettas will be the theme of this class. Students will study characteristics of this genre, as well as social and intellectual contexts.

授業の内容 (Course Contents)

ドイツ語で歌われ、演じられるオペレッタの代表的な作品を時代順に取り上げ、映像資料を視聴しながら作品のさまざまな側面を多角的に考察する。

This class will treat master works of operettas sung and played in German in chronological order. While watching video materials, students will conduct analysis from multiple perspectives of these works.

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンスと導入、オペレッタの定義、オペレッタの起源
2. オペレッタの誕生：『地獄のオルフェ』
3. オペレッタの黄金時代：『こうもり』(1)
4. オペレッタの黄金時代：『こうもり』(2)
5. オペレッタの黄金時代：『こうもり』(3)
6. オペレッタの白銀時代：『メリー・ウイドウ(陽気な寡婦)』(1)
7. オペレッタの白銀時代：『メリー・ウイドウ(陽気な寡婦)』(2)
8. ヴァイマル期のオペレッタ：『微笑みの国』(1)
9. ヴァイマル期のオペレッタ：『微笑みの国』(2)
10. ヴァイマル期のオペレッタ：『微笑みの国』(3)
11. オペレッタからミュージカルへ：『白馬亭にて』(1)
12. オペレッタからミュージカルへ：『白馬亭にて』(2)
13. オペレッタからミュージカルへ：『白馬亭にて』(3)
14. まとめと補足

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

必要に応じて履修登録完了後に、Blackboard を通じてあるいは授業時に直接履修者に指示する。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%) / 不定期に何回か提出するリアクションペーパー(40%)
ドイツ文学専修の申し合わせ事項として、欠席 3 回で D 評価となる。

テキスト (Textbooks)

とくに指定せず、プリントを配布する。

参考文献 (Readings)

授業時に適宜紹介する。

その他 (HP 等) (Others(e.g. HP))

- ・配布プリントは 1 回前の分まで教室に持参する。欠席などの理由で 2 回以上前の分を必要とする場合は、各自で Blackboard からダウンロードして入手すること。
- ・プリントおよびリアクションペーパー用紙は、授業開始前に教卓ないしは前方のテーブル上から各自で受け取ること。
- ・リアクションペーパーは出席点とは無関係である。たとえ提出しても、授業内容を把握していると判断できないようなもの、独自の思考過程がうかがえないもの、他人のものやインターネットの記事を書き写したようなもの等は採点の対象にしない。

・ドイツ語および音楽に関する基礎的な知識を持っていたほうがより授業内容になじみやすいが、成績評価にあたってドイツ語および音楽に関する知識の有無は問わない。

注意事項 (Notice)